

セイヨウキズタ (アイビー)



セイヨウキツタ (アイビー) は蔓長 30m程になるウコギ科の常緑性つる植物です。葉の様子がさまざまあり、日本では園芸用や観賞用として「アイビー」や「ヘデラ」などの名前で広く流通しています。薄日が当たる半日陰でも育ちますが、明るい場所で育てると葉の色つやが良くなります。水やりは、土の表面が乾いたら、鉢底から水が流れ出るくらいたっぷりと与えます

セイヨウキツタの花の開花期は 10月～11月頃で、花径が 3cm 程の黄緑色をしていて、球形の花序に花びらは 5 枚で、蜜が豊富でたくさんの昆虫が蜜を吸いに集まります。

セイヨウキツタの葉は互生して、若葉のときは掌状で 5 裂しますが、成葉になると切れ込みが無いハート形になります。

セイヨウキツタの果実は、直径 6mm 程で、冬の終わり頃に橙黄色から紫黒色に熟します。果実は人間にとって有毒ですが、鳥にとっては重要な食料で、鳥が食べることにより広範囲に種子が散布されます。

セイヨウキツタの花言葉は「誠実」、「信頼」、「友情」、「結婚」、「永遠の愛」などがあります。